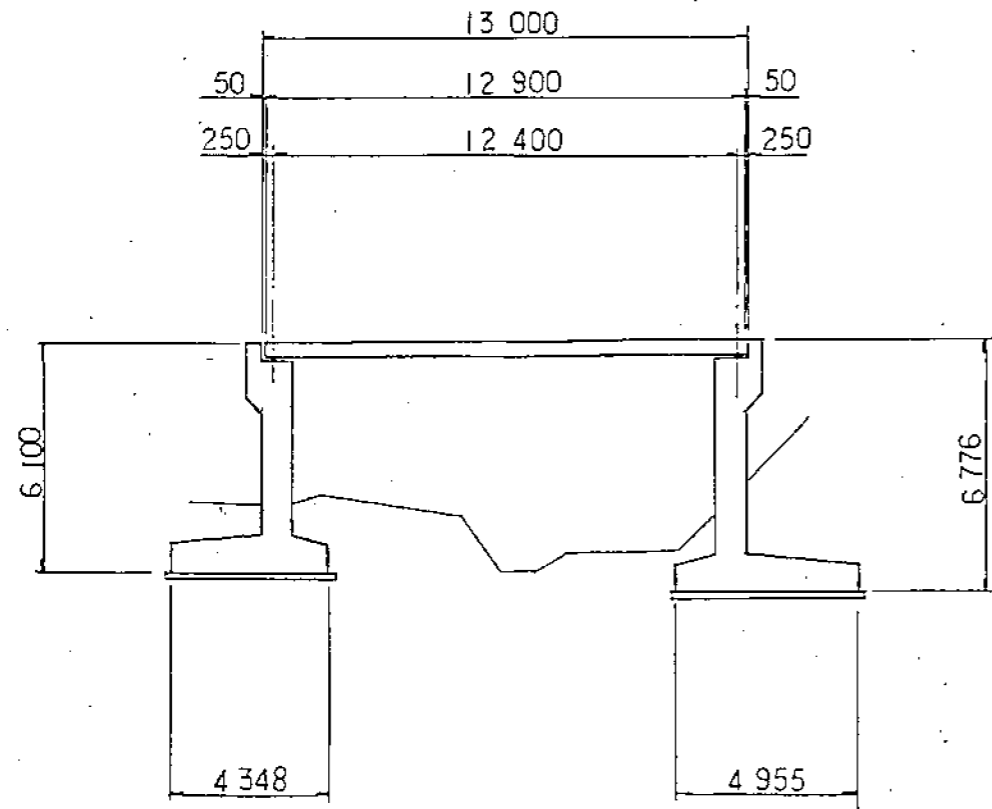


様式1

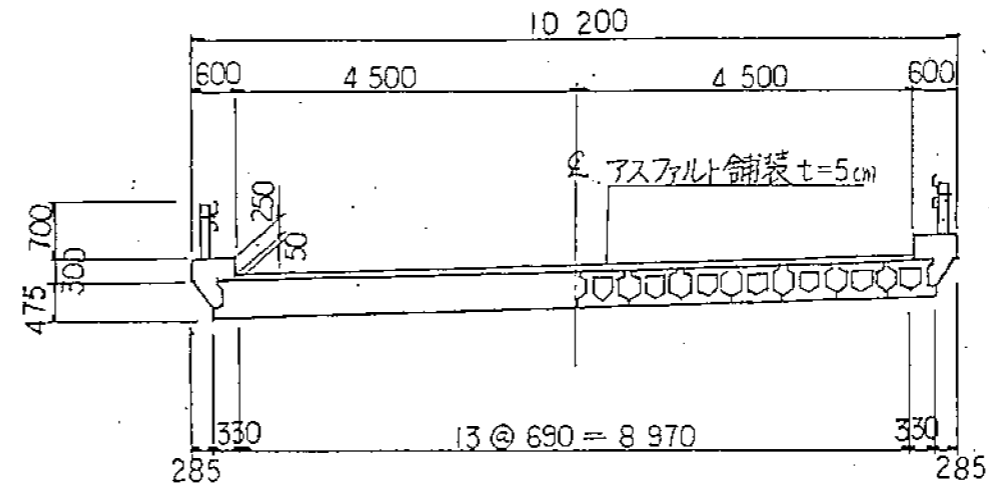
橋梁台帳		静岡県道路公社				藤ヶ前 橋										
一般事項		上部構造					下部構造					基礎工				
橋名	藤ヶ前 橋	橋種 (構造形式)	上路橋 (7°レタン方式ホ-277)				名称	構造形式		材種	名称	構造形式		材種		
位置	起点側: 0.6 km 終点側:	路面位置	(左) 中路 下路 二層	上路 中路 下路 二層	上路 中路 下路 二層	A ₁ 橋台	形式 逆丁式橋台	(φ) (本)	RC	A ₁ 橋台	形式 自持基礎	(φ) (本)				
道路規格	3種2級	延長 (桁長)	12.9 m			A ₂ 橋台	形式 "	(φ) (本)	RC	A ₂ 橋台	形式 "	(φ) (本)				
路線名	伊豆中央道 国道136号線	支間割 (径間数)	12.4 m (/ 径間)			橋脚	形式 (φ) (本)			橋脚	形式 (φ) (本)					
橋下種別 (名称)	1. 河川 2. 鉄道 3. 道路 ④. その他(水路)	細部構造	材種	細部構造	材種	細部構造	材種	細部構造	材種	橋脚	形式 (φ) (本)					
通用示方書	昭和55年	主桁(構)	主桁数 14本 桁高 0.475m 間隔 0.69m			橋脚	形式 (φ) (本)			橋脚	形式 (φ) (本)					
橋格	一等橋	横桁	桁数 本 桁高 m 間隔 m			橋脚	形式 (φ) (本)			橋脚	形式 (φ) (本)					
設計荷重	T-20 t L-20 t	縦桁	桁数 本 桁高 m 間隔 m			橋脚	形式 (φ) (本)			橋脚	形式 (φ) (本)					
設計震度	K _H = K _V =	接合方法				橋脚	形式 (φ) (本)			橋脚	形式 (φ) (本)					
架設年月	昭和58年7月(西暦1983年)	床版	中間部 厚さ t= cm 端部 厚さ t= cm			橋脚	形式 (φ) (本)			橋脚	形式 (φ) (本)					
橋長 (桁長)	13.0 m 12.9 m	鋼装厚	厚さ t= 5 cm			橋脚	形式 (φ) (本)			橋脚	形式 (φ) (本)					
地域延長	m	高欄	種別 鋼製(ガードレール) 高さ 車道側 路面からの高さ 1.15 m 地覆からの高さ 0.9 m 歩道側 路面からの高さ m 地覆からの高さ m			側道橋	位置 上流側 () 下流側 () 本橋との関係 1. 添架 2. 独立 1. 添架 2. 独立									
支間割 (径間数)	12.4 m (/ 径間)	伸縮継手	ゴムジョイント			橋種										
幅員構成	9.0 m	固定	ゴム支承			路面位置										
地覆幅	左= 0.6 m 右= 0.6 m	可動	ゴム支承			架設年次	年 月(西暦)		年 月(西暦)							
橋面積	116.10 m ²	落橋防止構造	1. 移動制限装置 2. 浮き上がり防止 3. 橋端確保 4. 落橋防止装置 () 5. なし			橋長	m									
平面線形	① 直線 2. 単曲線 3. クロソイド曲線	照明灯	灯数 灯配列 1. 片側 2. 千鳥 3. 向い合せ 可配光 1. カットオフ 2. セミカットオフA 3. セミカットオフB 4. ノンカットオフ			支間割	m									
地形区分	1. 市街地(DID) 2. 市街地(その他) 3. 平地 ④. 山地	架設工法	設計 上部工 下部工			幅員	m									
潮の影響	有(無) 海岸線からの距離 m	施工業者	本橋 側道橋又は拡巾部			高欄種別										
地盤種別	第1種 第2種 第3種 第4種	上部工	製作 PSコンクリート(構)			伸縮継手										
道路状況	1. 改良() 2. 準改良() 3. 未改良()	下部工	施工 加和木建設(株)			支承	固定 可動									
特殊立法			施工 加和木建設(株)			下部構造	下部工 基礎工									
協定・協議	有・無 内容:															
関係保持	マイクロ番号															
書類																
電算コード	路線番号 橋梁番号 ブロック番号 河川番号 ユニット番号															
記事																

橋梁一般図

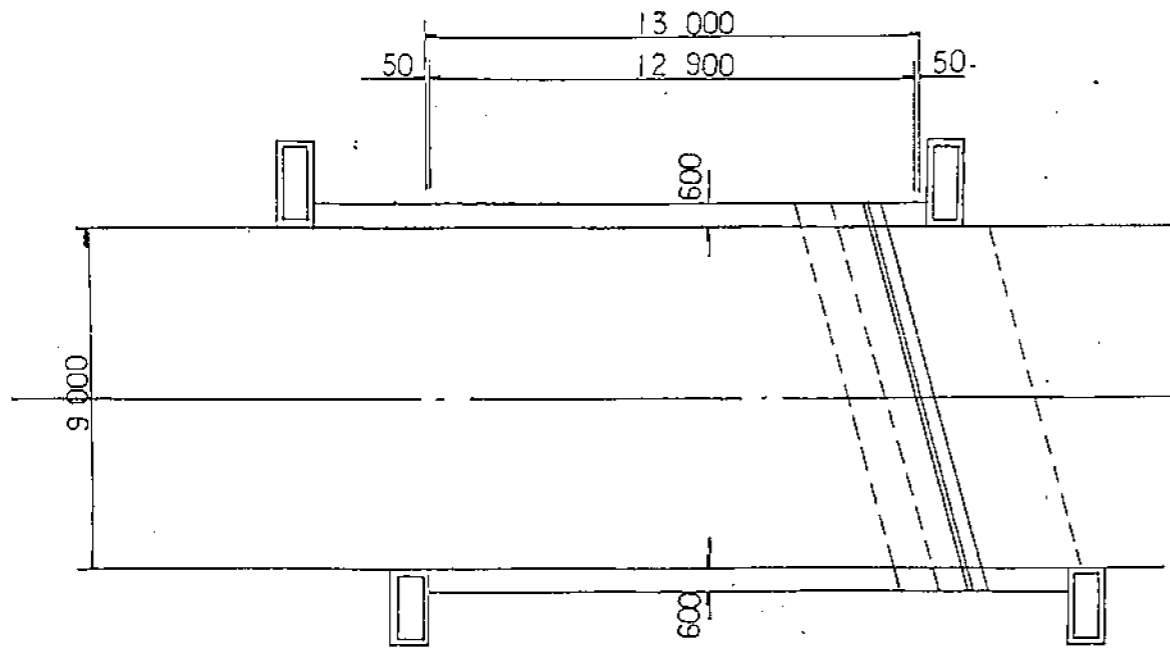
側面図 S=1/200



断面図 S=1/100



平面図 S=1/200



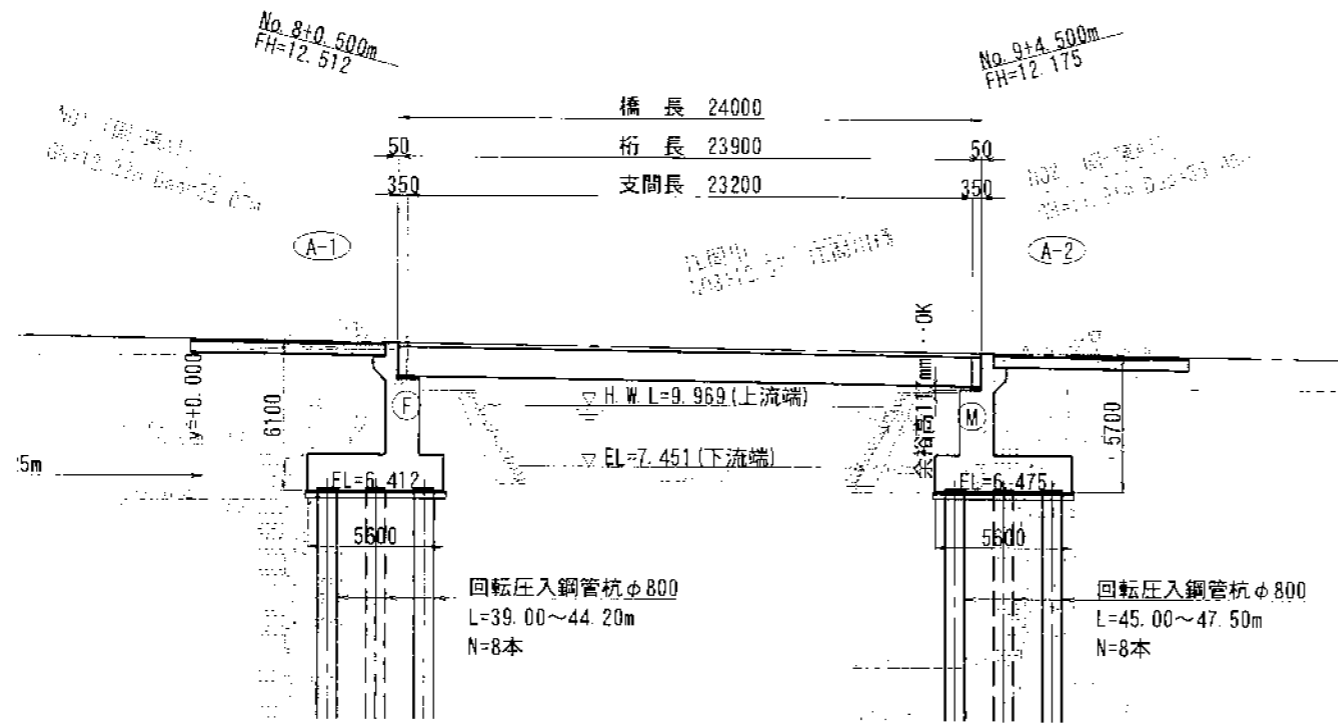
摘 要 欄			
	文 字	コ ー 下	
都道府県名	静岡県	2	2
市町村名	伊豆長岡町		
道路種別	一般国道		
路線名(路線分別)	国道136号(伊豆中央道)		
現道・旧道区分			
橋梁名(分割番号)	藤ヶ前橋		
架設年次	昭和58年2月		
縮 尺	側面図 1/200	断面図	1/100

様式 1

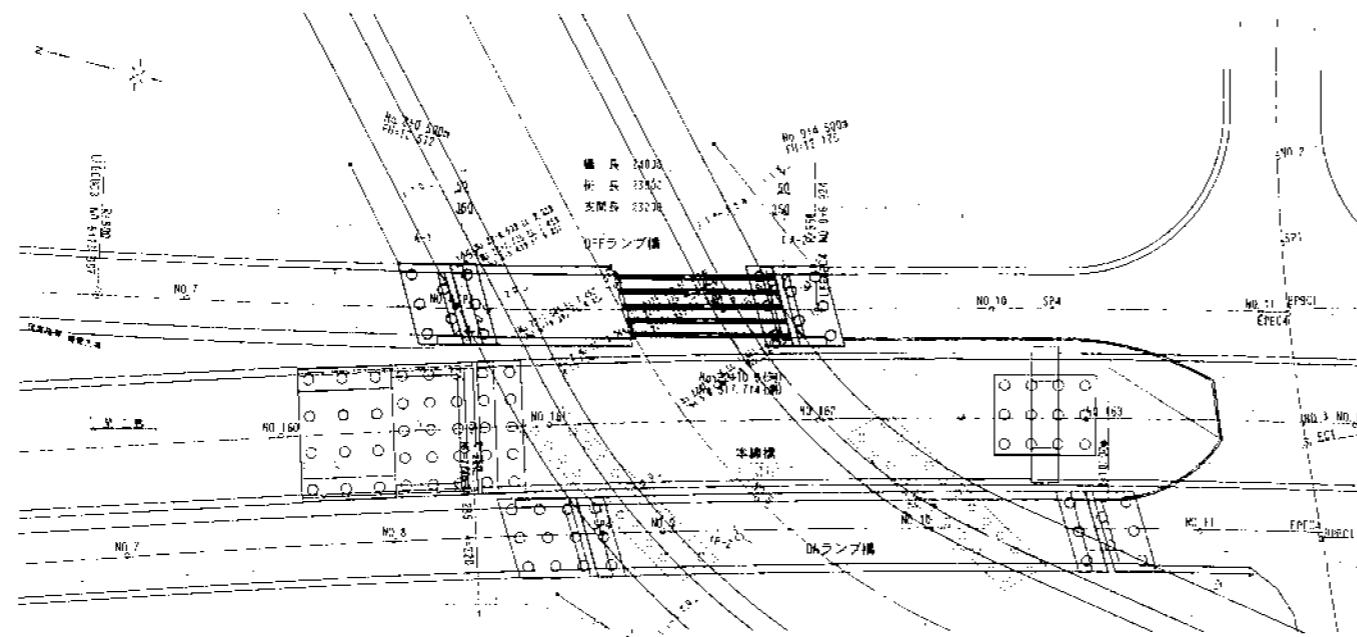
橋 梁 台 帳		静岡県道路公社		北江間オフランプ橋									
一 般 事 項				上 部 構 造				下 部 構 造					
橋 名				主 径 間				下 部 工 (軀 体)			基 礎 工		
ふりがな きたえまおふらんぷきょう 北江間オフランプ橋				橋 種 (構造形式) PC単純 プレテンションT桁橋				名 称 A1 橋台			材 種 RC		
位 置 起点側: 伊豆の国市北江間 終点側: 伊豆の国市北江間				路面位置 (上)中路 下路 二層				構造形式 形式 逆T式橋台 H: 6.1 L: 5.6 B: 6.0 (m)			名 称 A1 橋台		
道路規格 D規格ランプ				延 長 (桁長) 24.00 m (23.90) m				構造形式 形式 逆T式橋台 H: 5.7 L: 5.6 B: 6.0 (m)			材 種 RC		
路線名 (国)136号(有料道路「伊豆中央道」)				支間割 (径間数) 23.200 (1 径間)							材 種 RC		
橋下種別 (名称) ①河川 ②鉄道 ③道路 ④その他(沢) (一級河川 江間川)				支間割 (径間数) 23.200 (1 径間)							材 種 RC		
適用示方書 道路橋示方書・同解説H24.3				細部構造									
橋 格 B種				主桁(構)									
活荷重 B活荷重				主桁数 5 本 桁高 1.22 m 間隔 1.08 m									
設計震度 K _H = 0.29 K _V = 0.12				主桁数 本 桁高 m 間隔 m									
架設年月 平成 29 年 8 月 (西暦 2017)				主桁数 本 桁高 m 間隔 m									
橋 長 (桁長) 24.00 m (23.90) m				主桁数 本 桁高 m 間隔 m									
他域延長 m				主桁数 本 桁高 m 間隔 m									
支間割 (径間数) 23.200 (1 径間)				接合方法									
幅員構成 有効幅員 (全幅員) 4.75 (5.95) m				床版 中間部 厚さt= 0.168 cm 端部 厚さt= 0.168 cm									
地覆幅 左= 0.60 m 右= 0.60 m				舗装厚 厚さt= 8 cm 防凍厚45mmポリマー									
橋面積 (24.00 × 5.95) = 142.80 m ²				高 種別 車両用防護柵C種									
平面線形 ①直線 ②単曲線 ③クロソイド曲線				高 高さ 車道側 路面からの高さ 1 m 地覆からの高さ 0.75 m 歩道側 路面からの高さ m 地覆からの高さ m									
地形区分 ①市街地(DID) ②市街地(その他) ③平地 ④山地				伸縮継手 トランスフレックス(TF-50N)									
潮の影響 有(無) 海岸線からの距離 2000.0 m				支 固定 コンパクト型ゴム支承									
地盤種別 第1種 第2種 ③第3種 第4種				支 可動 コンパクト型ゴム支承									
道路状況 ①改良() ②準改良() ③未改良()				落橋防止 1. 移動制限装置 2. 浮き上がり防止 3. 縁端確保 4. 落橋防止装置(ケーブル方式) ⑤なし									
特殊立法				照 明 灯 灯数 灯配列 1. 片側 2. 千鳥 3. 向い合せ 灯具配光 1. カットオフ 2. セミカットオフA 3. セミカットオフB 4. ノンカットオフ									
インデ・協議 有・無 内容:				架設工法 トラッククレーン架設									
関係保持 マイクロ番号 No. 1872				設 計 者 上部工 株式会社 長大 下部工									
書 類				施 工 者 上部工 榎製作 施工 ドービー建設工業 株式会社 下部工 駿豆建設 株式会社									
電 算 路線番号 橋梁番号 ブロック番号 河川番号 ユニット番号				下部工 基礎工									

橋梁一般図

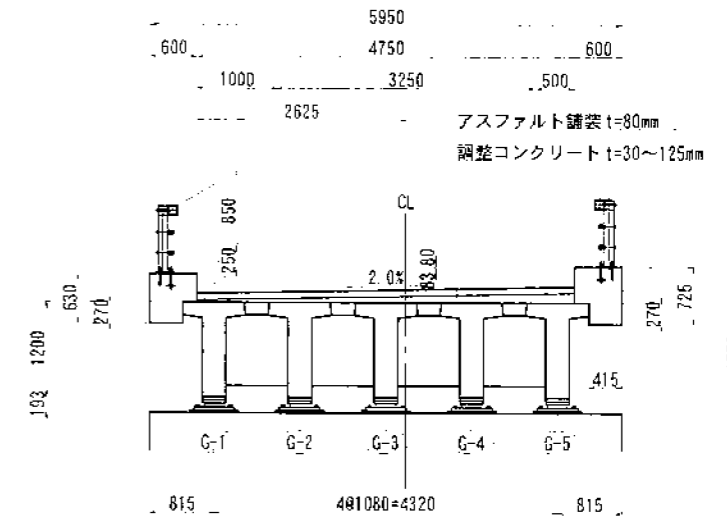
側面図



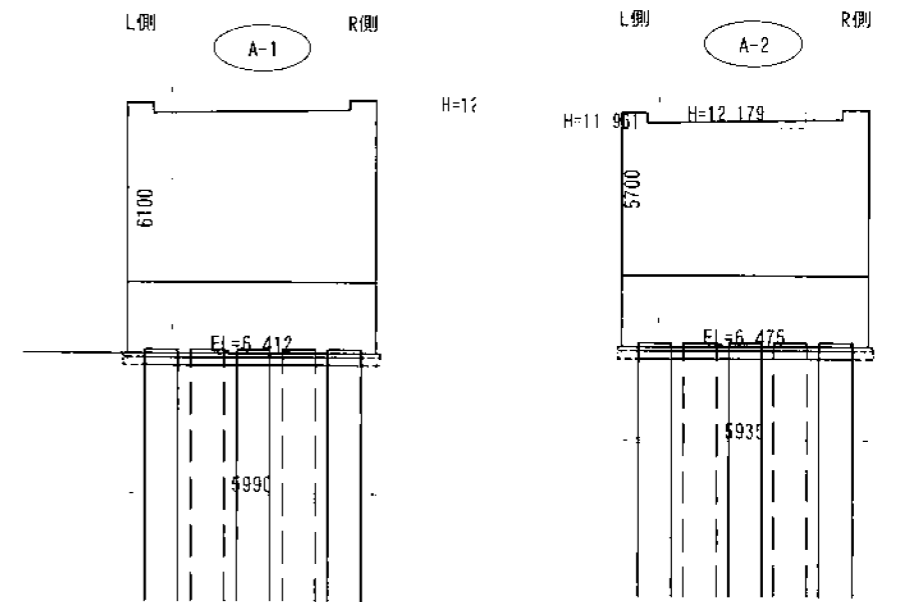
平面図



断面図



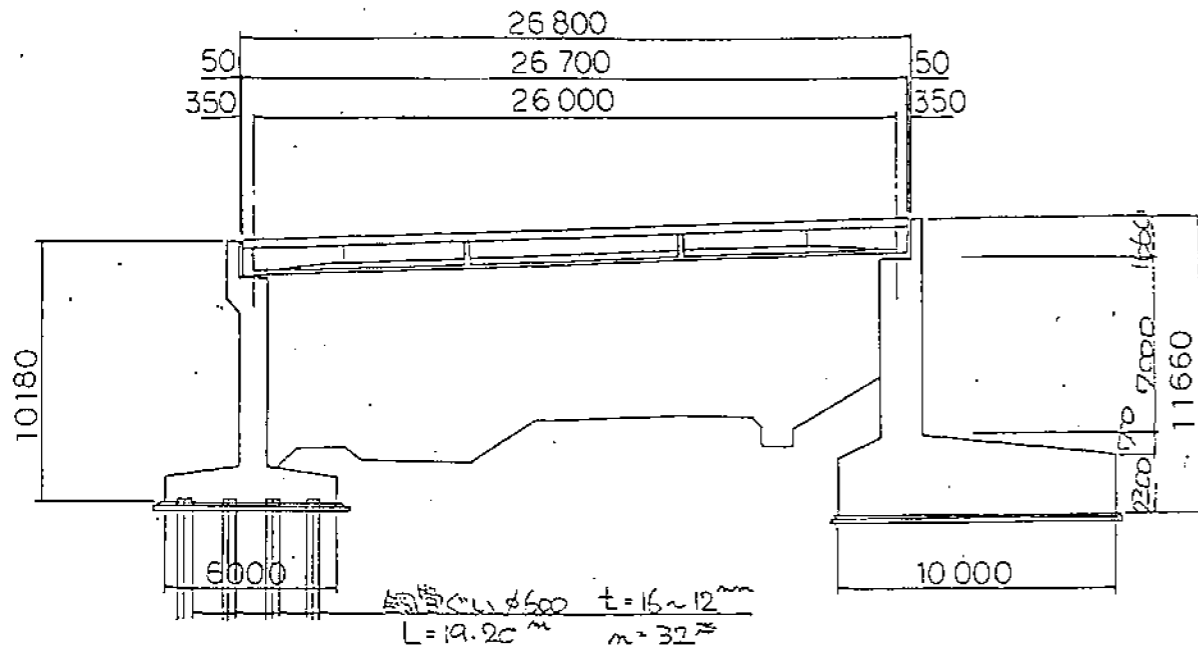
正面図



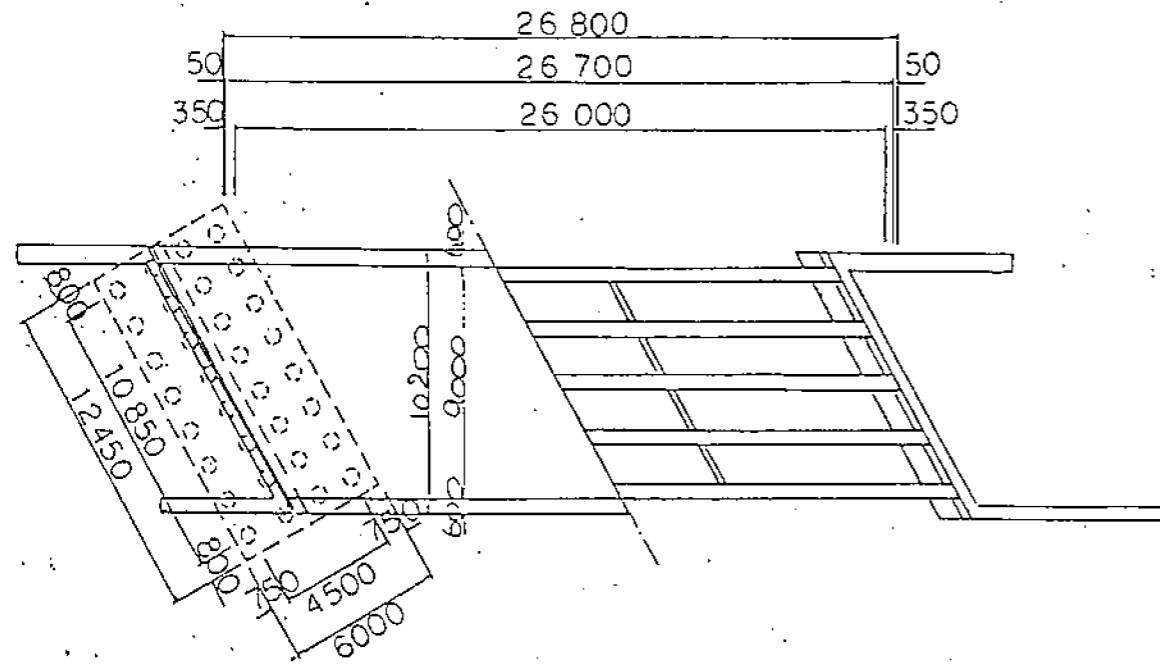
橋梁台帳		静岡県道路公社		南江門橋											
一般事項				上部構造					下部構造						
橋名	南江門橋			橋種 (構造形式)	上路橋 (単線ホーン方式桁)		側径間		名称	下部工(躯体)		基礎工			
位置	起点側: 1.1 km 終点側:			路面位置	(上路) 中路 下路 二層		上路 中路 下路 二層	上路 中路 下路 二層	A ₁ 橋台	形式 逆丁式RC橋台 H=10.18 L=12.4 B=6.0	材種 RC	A ₁ 橋台	形式 鋼管+H型鋼杭 (φ=0.6 L=19.2 B=2.5)	材種 鋼	
道路規格	3種6級			延長 (桁長)	26.80m (26.70m)				A ₂ 橋台	形式 " " H=11.6 L=17.4 B=10.0	材種 RC	A ₂ 橋台	形式 直接基礎 (φ= B=)		
路線名	伊豆中興道 国道136号線			支間割 (径間数)	26.0m (1径間)				橋脚	形式 (φ= L= B=)		橋脚	形式 (φ= L= B=)		
橋下種別 (名称)	1. 河川 2. 鉄道 ③ 道路 4. その他 (県道静岡港・飛山停車場線)			細部構造	材種	細部構造	材種	細部構造	材種	橋脚	形式 (φ= L= B=)	橋脚	形式 (φ= L= B=)		
適用示方書	昭和59年			主桁(構)	主桁数 5本 桁高 1.4m 間隔 1.1m	材種 PC	主桁数 本 桁高 m 間隔 m	主桁数 本 桁高 m 間隔 m	主桁数 本 桁高 m 間隔 m	橋脚	形式 (φ= L= B=)	橋脚	形式 (φ= L= B=)		
橋格	一等橋			横桁	桁数 4本 桁高 0.9m 間隔 8.7m	材種 PC	桁数 本 桁高 m 間隔 m	桁数 本 桁高 m 間隔 m	桁数 本 桁高 m 間隔 m	橋脚	形式 (φ= L= B=)	橋脚	形式 (φ= L= B=)		
設計荷重	T-20 t L-20 t			縦桁	桁高 m 間隔 m		桁高 m 間隔 m	桁高 m 間隔 m	桁高 m 間隔 m	橋脚	形式 (φ= L= B=)	橋脚	形式 (φ= L= B=)		
設計震度	KH= 0.22 Kv= 0			接合方法							側道橋				
架設年月	昭和59年6月(西暦1984)			床版	中間部 厚さt= cm		中間部 厚さt= cm	中間部 厚さt= cm	中間部 厚さt= cm	位置 上流側() 下流側()					
橋長 (桁長)	26.80 m (26.70m)			端部 厚さt= cm		端部 厚さt= cm	端部 厚さt= cm	端部 厚さt= cm	端部 厚さt= cm	本橋との関係 1. 添架 2. 独立					
他域延長	m			舗装厚 厚さt= 7.0 cm		舗装厚 厚さt= cm	舗装厚 厚さt= cm	舗装厚 厚さt= cm	舗装厚 厚さt= cm	橋種					
支間割 (径間数)	26.0 m (1径間)			高種別	鋼(ガードレール)						路面位置				
幅員構成	9.0 m			高さ	車道側 路面からの高さ 1.15m	地覆からの高さ 0.90m	歩道側 路面からの高さ m	地覆からの高さ m	架設年次 年 月(西暦) 年 月(西暦)			橋長 m			
地覆幅	左= 0.6 m 右= 0.6 m			伸縮継手	ゴム製後付式			主桁(構)			支間割				
橋面積	240.30 m ²			支固定	ゴム支承(Rb-F)			桁高 m 間隔 m			幅員 m				
平面線形	1. 直線 ② 単曲線 3. クロソイド曲線			支可動	ゴム支承(Rb-F)			桁高 m 間隔 m			細部構造 材種				
地形区分	1. 市街地(DID) 2. 市街地(その他) 3. 平地 ④ 山地			落橋防止構造	1. 移動制限装置 2. 浮き上がり防止 3. 縁端確保 ④ 落橋防止装置(耐震装置) 5. なし			床版 厚さt= cm			細部構造 材種				
潮の影響	有(無) 沿岸線からの距離 m			照明灯	灯数	灯配列	1. 片側 2. 千鳥 3. 向い合せ	高欄種別			細部構造 材種				
地盤種別	第1種 第2種 第3種 第4種			架設工法	本橋 側道橋又は抜中部			伸縮継手			細部構造 材種				
道路状況	1. 改良() 2. 準改良() 3. 未改良()			設計	上部工 静岡県土地開発公社 下部工 //			支固定			細部構造 材種				
特殊立法				施工業者	上部工 桁製作 P.S. エフリート(株) 上部工 施工 P.S. エフリート(株) 下部工 A1 東急建設(株) A2 大場建設(株)			支可動			細部構造 材種				
協定・協議	有(無) 内容:			下部工	A1 東急建設(株) A2 大場建設(株)			下部工			基礎工				
関係保持書類	マイクロ番号														
電算コード	路線番号	橋梁番号	河川番号												
	ブロック番号														
	ユニット番号														
記事															

橋梁一般図

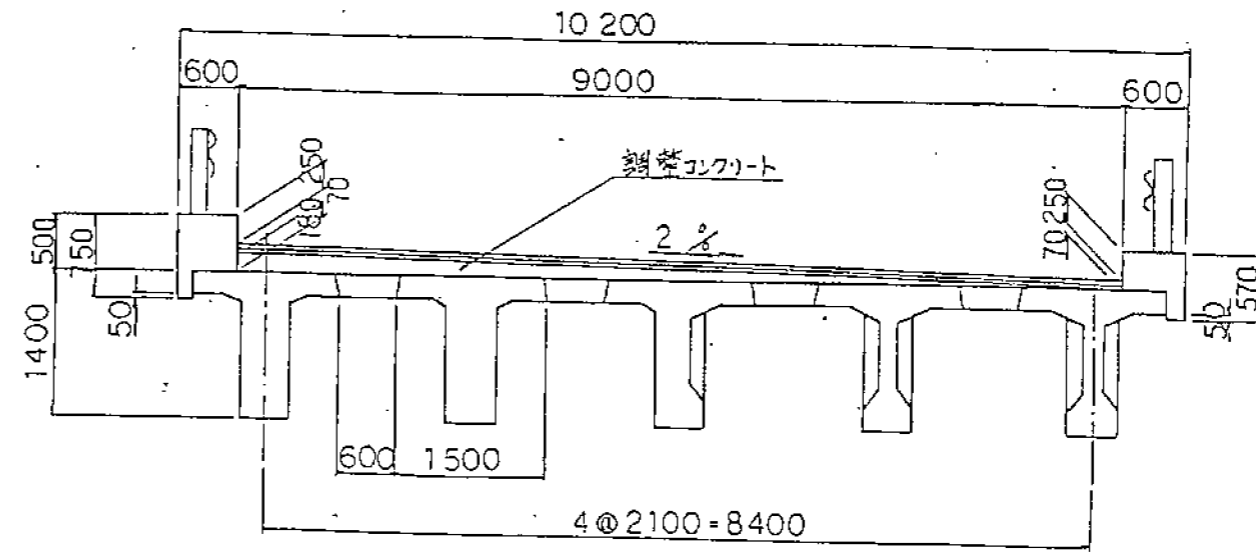
側面図



平面図



断面図



摘要欄		
	文字	コード
都道府県名	静岡県	2 2
市町村名	伊豆長岡町	3 2 1 2
道路種別	一般国道	3
路線名(路線別)	(国) 136号	0 1 3 6
現道・旧道区分	新道	3
橋梁名(分別番号)	南江間橋	2 1 4 0
架設年次	昭和59年	
縮尺	側面図 1/300	断面図

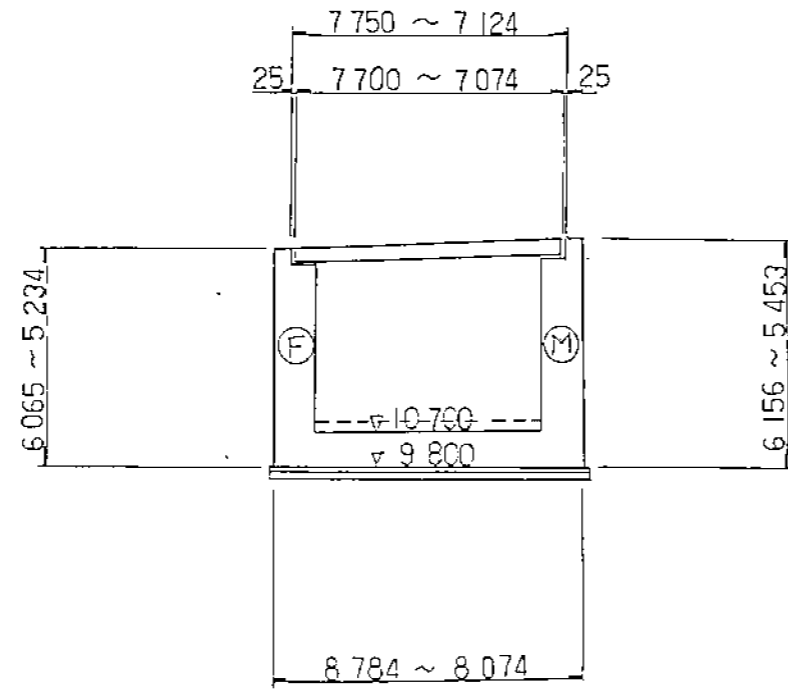
様式1

橋 梁 台 帳		静岡県道路公社				ハッ島 橋											
一 般 事 項						上 部 構 造						下 部 構 造					
橋 名		ハッ島 橋				主 径 間			側 径 間			下 部 工 (軀 体)			基 礎 工		
位 置		起点側: 1.6 km 終点側:				橋 種 (構造形式)			橋 種 (構造形式)			名称			名称		
道路規格		3種又級				路面位置			路面位置			A1橋台			A1橋台		
路線名		国道136号線 伊豆中央道				延長 (桁長)			延長 (桁長)			A2橋台			A2橋台		
橋下種別 (名称)		1. 河川 2. 鉄道 ③ 道路 4. その他 ()				支間割 (径間数)			支間割 (径間数)			橋脚			橋脚		
通用示方書		昭和55年				細部構造			細部構造			橋脚			橋脚		
橋 格		一等橋				主桁(構)			主桁(構)			橋脚			橋脚		
設計荷重		T- 20 t L- 20 t				桁高			桁高			桁高			桁高		
設計震度		KH= KV=				間隔			間隔			間隔			間隔		
架設年月		昭和59年6月(西暦1984)				桁数			桁数			桁数			桁数		
橋 長 (桁長)		7.43 m 7.38 m				桁高			桁高			桁高			桁高		
地域延長		m				間隔			間隔			間隔			間隔		
支間割 (径間数)		6.980 m (1 径間)				桁数			桁数			桁数			桁数		
幅員構成		23.123 ~ 23.333 m				桁高			桁高			桁高			桁高		
地覆幅		左= 0.775 m 右= 0.712 m				間隔			間隔			間隔			間隔		
橋面積		171.42 m ²				間隔			間隔			間隔			間隔		
平面線形		① 直線 2. 単曲線 3. クロソイド曲線				接合方法			接合方法			橋 種			橋 種		
地形区分		1. 市街地(DID) 2. 市街地(その他) 3. 平地 ④ 山地				床版			床版			路面位置			路面位置		
潮の影響		有(無) 沿岸線からの距離				端部			端部			架設年次			架設年次		
地盤種別		第1種 第2種 第3種 第4種				舗装厚			舗装厚			橋 長			橋 長		
道路状況		1. 改良() 2. 準改良() 3. 未改良()				高 種 別			高 種 別			支間割			支間割		
特殊立法						高 さ			高 さ			幅 員			幅 員		
協定・協議		有・無 内容:				伸縮継手			伸縮継手			細 部 構 造			細 部 構 造		
関係保持		マイクロ番号:				固 定			固 定			主 桁 (構)			主 桁 (構)		
書 類						可 動			可 動			桁 高			桁 高		
電 算		路線番号 橋梁番号				落橋防止構造			落橋防止構造			間 隔			間 隔		
コ ー ド		ブロック番号 河川番号				照 明 灯			照 明 灯			間 隔			間 隔		
記 事		ユニット番号				架設工法			架設工法			床 版			床 版		
						施 工 業 者			施 工 業 者			高 欄 種 別			高 欄 種 別		
						上 部 工			上 部 工			伸 縮 継 手			伸 縮 継 手		
						下 部 工			下 部 工			支 承			支 承		
						本 橋			本 橋			下 部 工			下 部 工		
						側 道 橋 又 は 拡 中 部			側 道 橋 又 は 拡 中 部			基 礎 工			基 礎 工		
						桁 製 作			桁 製 作								
						施 工			施 工								
						東 海 工 業 株 式 有 限 公 司			東 海 工 業 株 式 有 限 公 司								

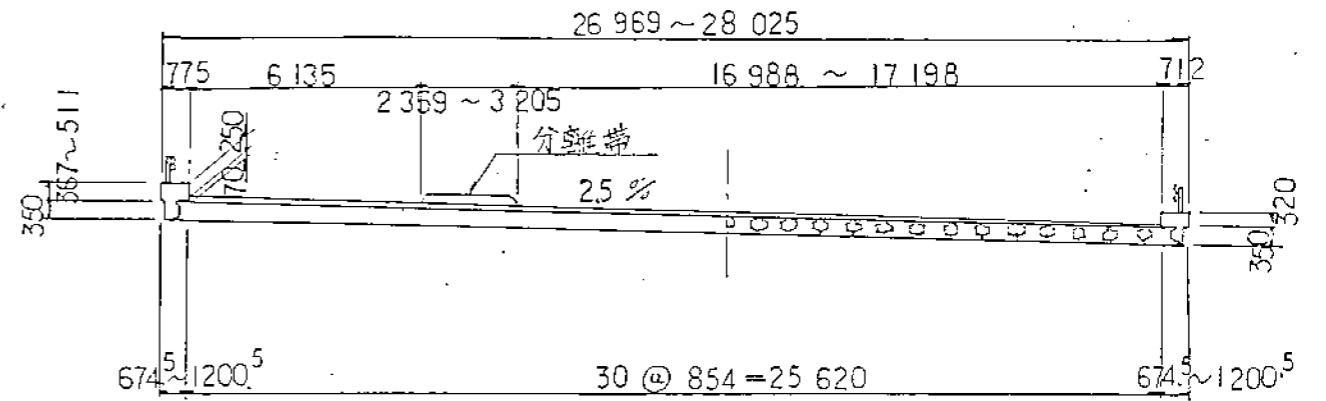
表中

橋梁一般図

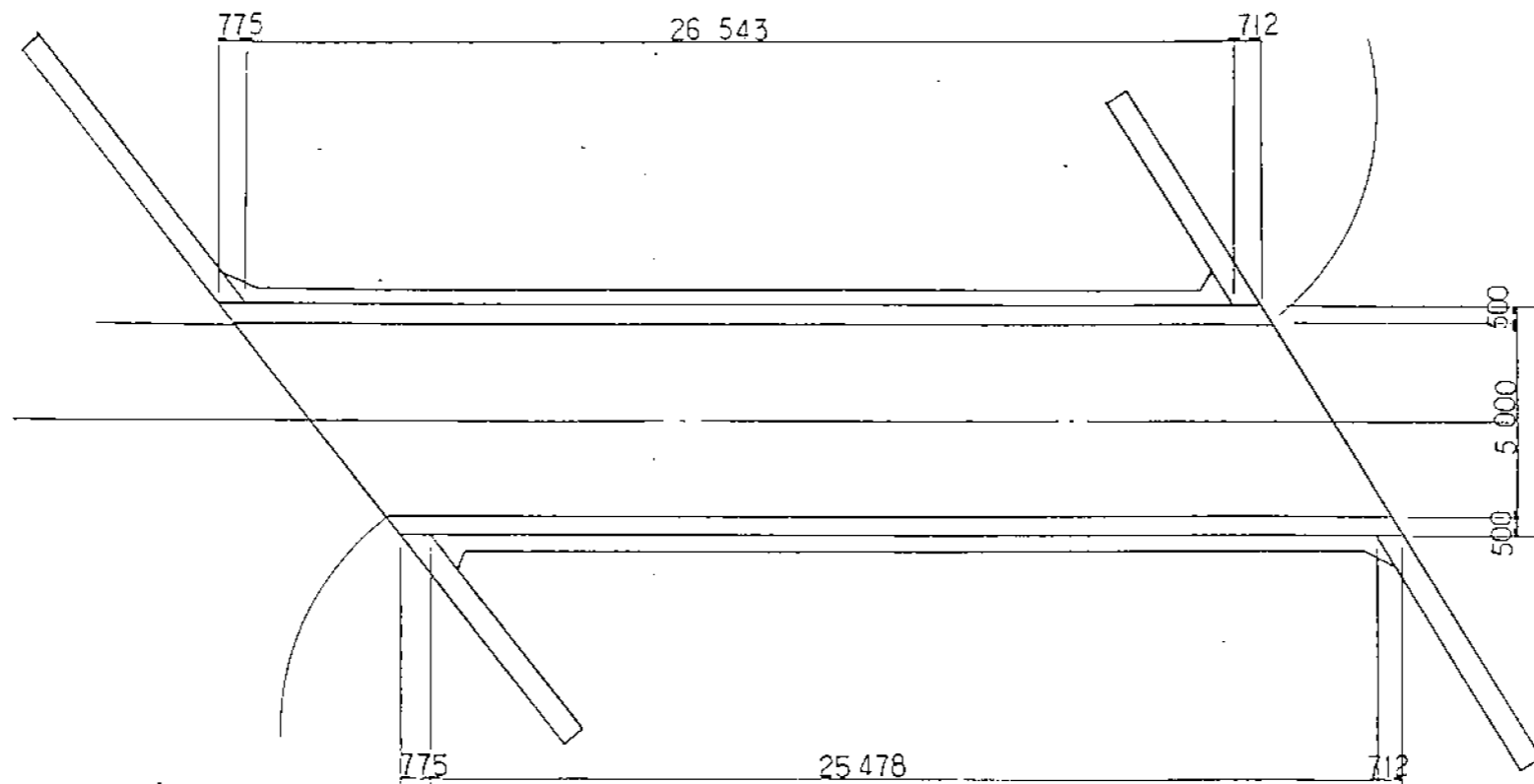
側面図 S=1/200



断面図 S=1/200



平面図 S=1/200



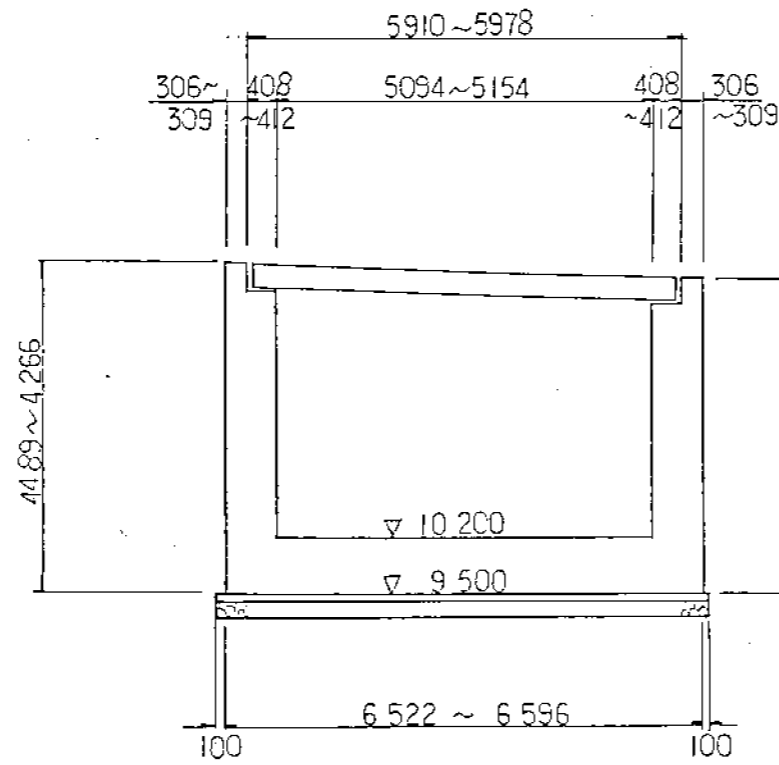
摘要欄			
	文字	コード	
都道府県名	静岡県	22	
市町村名	伊豆長岡町		
道路種別	一般国道		
路線名(路線分別)	国道136号(伊豆中央道)		
現道・旧道区分			
橋梁名(分割番号)	ハッ島橋		
架設年次	昭和59年6月		
縮尺	側面図 1/200	断面図	1/200

様式1

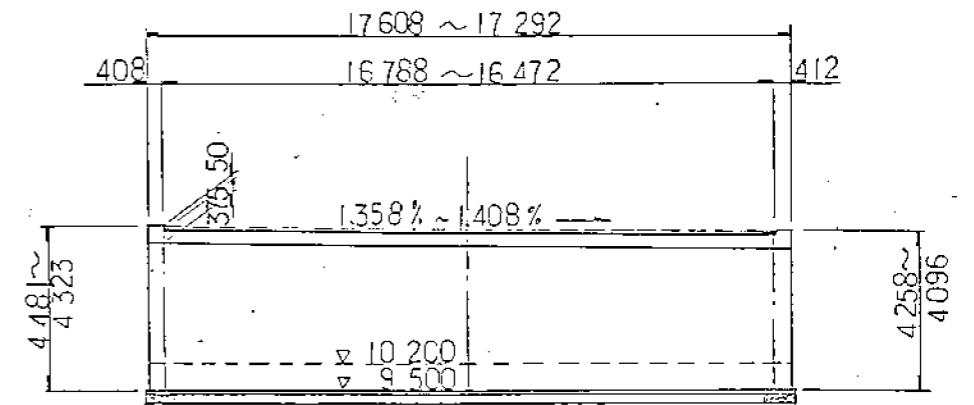
橋梁台帳		静岡県道路公社				上張橋			
一般事項		上部構造				下部構造			
橋名		主径間		側径間		下部工(躯体)		基礎工	
橋名	上張橋	橋種 (構造形式)		RC		名称 A ₁ 橋台		名称 A ₁ 橋台	
位置	起点側: 1.25 km 終点側:	路面位置 (上) 中路 下路 二層		上路 中路 下路 二層		形式 形式 U型橋台		形式 形式 直接基礎	
道路規格	3種2級	延長 (桁長)		5.94 m		H=4.37 L=17.60 B=6.52		H= L= B=	
路線名	伊豆中興道 136号線	支間割 (径間数)		(/ 径間)		A ₂ 橋台		A ₂ 橋台	
橋下種別 (名称)	1. 河川 2. 鉄道 ③ 道路 4. その他	細部構造		材種		形式 形式 "		形式 形式 "	
適用示方書	昭和55年	主桁(構)		主桁数 本		橋脚		橋脚	
橋格	一等橋	主桁数 本		主桁数 本		形式 形式 "		形式 形式 "	
設計荷重	T-20 t L-20 t	桁高 m		桁高 m		H= L= B=		H= L= B=	
設計震度	K _H = K _V =	間隔 m		間隔 m		橋脚		橋脚	
架設年月	昭和59年6月(西暦1984)	桁数 本		桁数 本		形式 形式 "		形式 形式 "	
橋長 (桁長)	5.94 m	桁高 m		桁高 m		H= L= B=		H= L= B=	
他域延長	m	間隔 m		間隔 m		橋脚		橋脚	
支間割 (径間数)	(/ 径間)	縦桁		縦桁		形式 形式 "		形式 形式 "	
幅員構成	16.788 ~ 16.472 m	接合方法		接合方法		側道橋		側道橋	
地覆幅	左=0.408 m 右=0.412 m	床版		床版		位置		位置	
橋面積	98.78 m ²	中間部 厚さ= cm		中間部 厚さ= cm		上流側 ()		下流側 ()	
平面線形	①直線 2. 単曲線 3. クロノイド曲線	端部 厚さ= cm		端部 厚さ= cm		本橋との関係		本橋との関係	
地形区分	1. 市街地(DID) 2. 市街地(その他) 3. 平地 ④山地	舗装厚 厚さ= 5 cm		舗装厚 厚さ= 5 cm		1. 添架 2. 独立		1. 添架 2. 独立	
潮の影響	有(無) 沿岸線からの距離 m	高欄種別		高欄種別		橋長		橋長	
地盤種別	第1種 第2種 第3種 第4種	鋼製(ガードレール)		鋼製(ガードレール)		支間割		支間割	
道路状況	1. 改良() 2. 準改良() 3. 未改良()	高さ		高さ		幅員		幅員	
特殊立法		伸縮継手		伸縮継手		細部構造		細部構造	
協定・協議	有・無 内容:	ゴムジョイント		ゴムジョイント		主桁(構)		主桁(構)	
関係保持書類		固定		固定		桁高 m		桁高 m	
電算コード	路線番号 橋梁番号 ブロック番号 河川番号 ユニット番号	可動		可動		間隔 m		間隔 m	
記事		落橋防止構造		落橋防止構造		縦桁		縦桁	
		照明灯		照明灯		桁高 m		桁高 m	
		架設工法		架設工法		間隔 m		間隔 m	
		設計		設計		床版		床版	
		上部工		上部工		厚さ= cm		厚さ= cm	
		下部工		下部工		舗装		舗装	
		本橋		本橋		高欄種別		高欄種別	
		側道橋又は拡中道		側道橋又は拡中道		伸縮継手		伸縮継手	
		上部工		上部工		固定		固定	
		下部工		下部工		可動		可動	
		橋製作		橋製作		下部工		下部工	
		橋施工		橋施工		基礎工		基礎工	
		東海土木		東海土木					

橋梁一般図

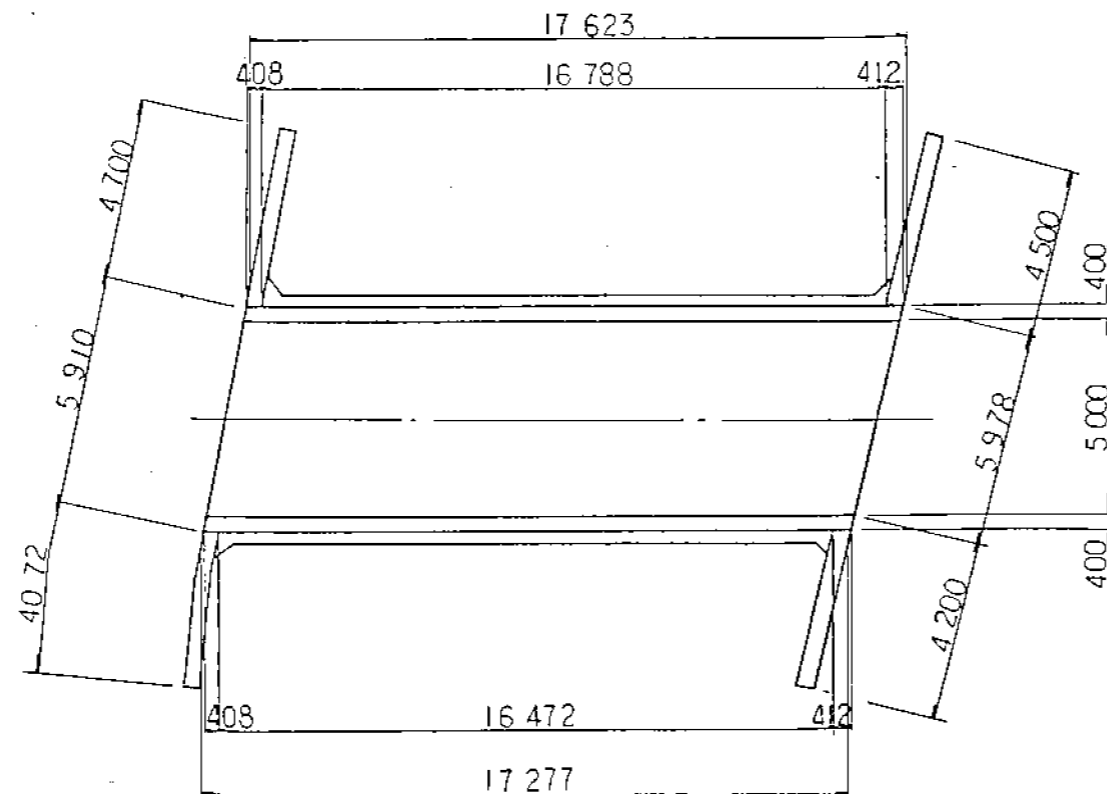
側面図 S=1/100



断面図 S=1/200



平面図 S=1/200



摘要欄			
	文字	コード	
都道府県名	静岡県	2	2
市町村名	伊豆長岡町		
道路種別	一般国道		
路線名(路線分別)	国道136号(伊中鉄道)		
現道・旧道区分			
橋梁名(分割番号)	上張橋		
架設年次	昭和59年6月		
縮尺	側面図 1/100	断面図	1/200

様式1

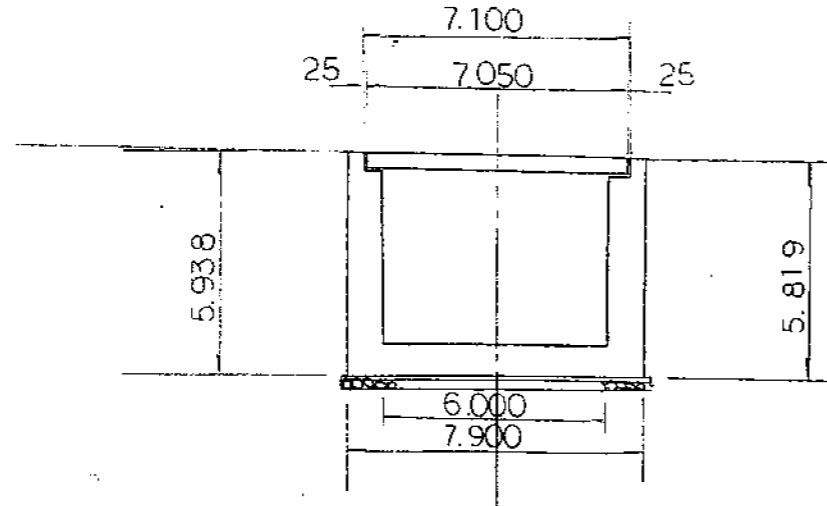
静岡県道路公社

橋梁台帳		(沼津)土木事務所		大明神橋											
一般事項				上部構造						下部構造					
橋名	大明神橋			橋種 (構造形式)	アレンション単純桁 (ホロー)										
位置	起点間: 田方郡伊豆長岡町大字北江間 終点間: 〃			橋種 (構造形式)	アレンション単純桁 (ホロー)										
道路規格	3種2級			路面位置	(上) 中路 下路 二層		上路 中路 下路 二層								
路線名	(国) 136			延長 (桁長)	7.10 (7.05)										
橋下種別 (名称)	1. 河川 2. 鉄道 ④ 道路 4. その他 (町道 50号線)			支間割 (径間数)	6.65 (1径間)										
適用規程	S 53			細部構造	材種		細部構造		材種						
橋階	1等橋			主桁(構)	主桁数 3/本		主桁数 本		主桁数 本						
設計荷重	T-20 t L-20 t			桁高	0.35 m		桁高 m		桁高 m						
設計速度	Km= 0.24 Kv= 0			間隔	0.70 m		間隔 m		間隔 m						
架設年月	59年6月(西暦)			桁数	本		桁数 本		桁数 本						
橋長 (桁長)	7.10 (7.05) m			桁高	m		桁高 m		桁高 m						
地境延長	m			間隔	m		間隔 m		間隔 m						
支間割 (径間数)	6.65 (1径間)			間隔	m		間隔 m		間隔 m						
幅員構成	30.0			接合方法											
地覆幅	左= 0.60 m 右= 0.60 m			床版	中間部		厚さ= cm		厚さ= cm						
橋面積	211.5 m ²			端部	厚さ= cm		厚さ= cm		厚さ= cm						
平面線形	1. 直線 2. 単曲線 ③ クロソイド曲線			舗装厚	厚さ= 7 cm AS		厚さ= cm		厚さ= cm						
地形区分	1. 市街地(DID) 2. 市街地(その他) ③ 平地 4. 山地			高	種別		鋼製(Gr-Bk-2H)								
湖の影響	⑩ 無 海岸線からの距離 m			高さ	車道側		路面からの高さ 1.15 m		地覆からの高さ 0.90 m						
地盤種別	第1種 第2種 ③ 第3種 第4種			歩道側	路面からの高さ m		地覆からの高さ m								
道路状況	① 改良() 2. 準改良() 3. 未改良()			伸縮継手	ゴム(カットオフジョイント)										
特殊立法				支	固定		ゴム沓(150×20)								
協定・協議	有・無 内容:			承	可動		ゴム沓(150×20)								
関係保持	マイクロ番号			落橋防止	構造		1. 移動制限装置 2. 浮き上がり防止 3. ばね確保 4. 落橋防止装置(アンカーボルト) 5. なし								
書類				照明灯	灯数		0 灯配列 1. 片側 2. 千鳥 3. 向い合せ								
電算	路線番号 0136 橋梁番号			架設工法	トラス7フレ-ン		設計		上工 (株) 東日						
コード	ブロック番号 51 河川番号			施工	本橋		側道橋又は抜中橋		下工						
記事	ユニット番号 15			施工業者	上工 橋製作 下工 東海土建										

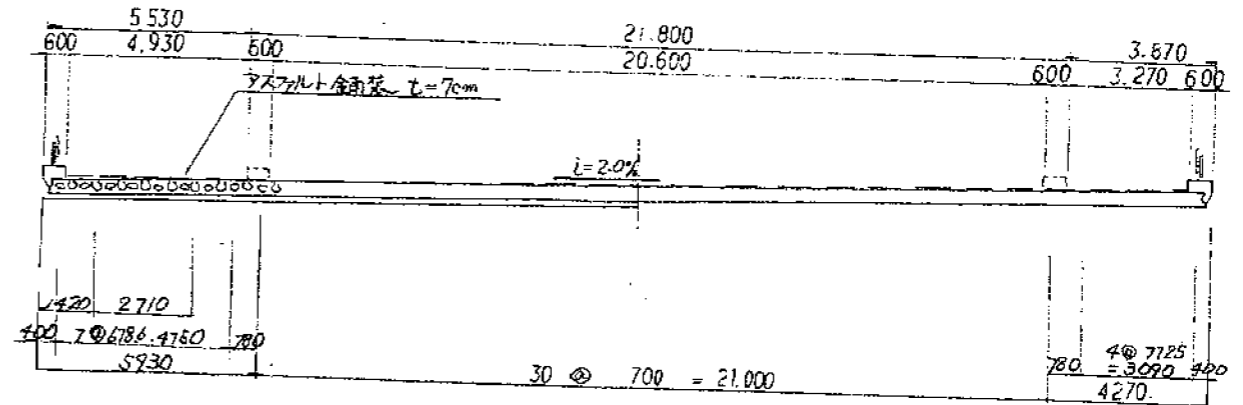
橋梁一般図

大明神橋

側面図 S = 1 / 200



断面図 S = 1 / 200



平面図 S = 1 / 200

